第4回女性活躍100人会議(8月4日 邑南町)

でいただいたご意見に対する県の対応

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
放課後児童クラブの指導員は午後の短時間	利用時間の延長実施や待機児童の解消のための定
の勤務形態であることなどから、募集が困難で	員拡大に伴って必要となる人件費等の助成を行い、
あるので、処遇改善により確保を図るなど、子	放課後児童クラブの充実を推進していきます。
どもたちの学習、教育支援を手厚くお願いした	
V,	
若い世代に農業をつなげるには、人手や援助	意欲ある農業者の方が経営発展できるような環境
が必要。農業が活性化することで、町や村が活	整備を進めるため、水田園芸をはじめとする収益性
性化する。農業を手厚く応援・支援して欲しい。	の高い農業への取組支援や担い手不在集落における
	多様な担い手確保対策などの支援を行ってまいりま
	す

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

3. 既に実施しているもの	
いただいたご意見	対応状況
隣の地区に実家があり、そこの地区に住みたいと思っているが、空き家があっても住めない状況であり、もったいないと感じている。	空き家法により、空き家対策は市町村事務とされており、市町村は空き家バンクを創設し、空き家の活用に努めています。(県内18市町) 県では、空き家バンクへの登録が進むよう、登録さ
	れる空き家の家財処分やハウスクリーニング経費などを補助する市町村に対し、その経費の一部について助成を行っています。 今後も市町村と連携し、空き家バンクへの登録が進むよう制度の周知を図ってまいります。
助産師、産婦人科医、保育士などの子育て関係者が、連携してチームで支援している。今は何とかできているが、人材が不足しており、限られた人数での対応のため、誰かが欠けるなど万が一のことがあった時のために、他のメンバーが必要。	子育てに係る専門職の人材確保について、修学資金等の貸付制度や人材バンク等により取り組んでいるところですが、引き続き人材確保に努めてまいります。
邑智病院には小児科や産婦人科があるが、これがなくなると他の病院に1時間以上かけて通院することになるので、安心して子育てをするためにも、医療を確実に確保して欲しい。	産婦人科医、小児科医の不足に対して、奨学金や研修資金の貸与制度等も活用しながら、将来を見据えた安定的、継続的な確保に努めていきます。 今後も関係機関と連携し、高校生や医学生、若手医師に対して、こうした制度の周知を図ってまいります。 また、医師確保計画に基づき、産婦人科や小児科の医師が不足する中で将来を見据えた安全・安心な体制について、圏域での連携や助産師の活用も含め、検討を進めてまいります。
キャリア教育について、学校の先生が忙しく、地域の提案を受け入れる時間がない。先生 の負担を減らすため、地域ができることについ	江津地域では、平成30年度より江津高校・江津工 業高校を中心に、市町村や商工会議所などが参画す る魅力化協議会を設置し、学校と地域の話し合う場

て、地域と学校が、学校のスタンスを話し合う 場が大事。

を設けてきたと伺っています。

また、県教育委員会では、主体的・創造的な対話を 行いながら地域と学校が一体となって子どもたちを 育むための協働体制「高校魅力化コンソーシアム」の 構築を県全域で推進しています。

このコンソーシアムには、県が配置している人材 確保育成コーディネーターも参画し、地域の企業と 学校を繋げる活動を強化してまいります。

今後も、キャリア教育が一層推進されるよう、「高 校魅力化コンソーシアム」構築の推進と、地域への周 知を図ってまいります。

一般市民の声を県が聞く機会を持つことが 必要。女性、若者などカテゴリーごとに集めて みると、議論や施策が深まっていくと思う。 知事広聴会「知事と語る車座トーク」では、地域の 課題などのテーマを設定し、それぞれの分野から若 い方を中心にご参加いただいています。

知事広聴会の様子について、ホームページ等で多くの方にご紹介するとともに、今後も積極的に情報 提供してまいります。

公共工事の主任技術者をしているが、10年 以上前に県の担当者に「女性ですか?」と言わ れたことがあり、「女性ではいけないのか。」と 驚いたことがある。 当時の県の対応につきまして、ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。

主任技術者は、建設工事の適正な施工を行うために一定の資格・経験を要する技術者を配置し、施工上の管理・監督をするものであり、一定の資格・経験を満たせば男女の区別なく配置することができます。

現在、この趣旨に沿って現場で適切な対応が図られるよう、人権・同和問題職場研修やハラスメント研修などを行っているところであり、今後も引き続き、職員に対する男女共同参画の理解促進を図ってまいります。

また、働きやすい環境対策として、土木部発注の一部工事において、本年度から建設現場に男女とも快適に使用できる仮設トイレを試行的に設置しています。

さらに、多くの女性が建設技術者として活躍している状況について、新規職員等を対象とした研修会に「しまね建設産業イメージアップ女子会」の活動紹介などの内容を盛り込むなどにより、職員への意識啓発を進めてまいります。

個人の意識が、男女関係なく、子どもがいても関係なく過ごせるようになればよい。

社会のあらゆる分野における活動に男女が平等に 参画でき、その個性と能力を十分に発揮できる環境 づくりに取り組んでいます。

その取組のひとつとして、地域における男女共同 参画の推進のための講座等を実施しており、今後も 市町村等と協力して意識啓発を図ってまいります。

女性の社会進出・活躍のためには、男女とも 多様な生き方を認めることが必要。両親と子ど もがいる家庭が幸せということではなく、多様 な生き方が認められるといい。 女性一人ひとりがあらゆる分野で活躍することができるための取組のひとつとして、若い世代が将来設計において男女の区別なく個性と能力を発揮し、多様なライフキャリアを考え、選択することができるためのセミナー等を大学生等を対象に開催しています。

女性の多様な生き方を認め合う社会の実現のため、地域においても男女共同参画推進のための講座等を通じ、今後も普及・啓発してまいります。

女性にとっても男性にとっても働きやすい 環境は同じ。きれいで休みやすい環境が必要。 そういう環境づくりを企業任せにすると、大企 業はすぐにできるが、中小企業は整備に苦労す る。 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、県に届け出た「しまね女性の活躍応援企業」については、女性が働きやすい職場環境づくりのために、休憩室やキッズルーム等を整備する経費の一部を助成する制度があります。

今年度この制度の見直しを行い、来年度からは「しまね女性の活躍応援企業」かつ「しまね子育て応援企業 (こっころカンパニー)」である企業等が行う女性活躍や仕事と子育て等との両立支援につながる取組に対して、経費の一部を助成する制度としたところです。

また、中小企業等において、誰もが働きやすい職場づくりを進めていくため、「多様な人材の活躍を目的とした支援パッケージ」事業を今年度から実施し、企業等が取り組む「職場づくり」、「人づくり」、「就労環境の改善」を支援しており、来年度から対象事業者を広げるなど支援を強化していきます。

併せて、来年度は育休取得後の復職支援に加え、 「時間単位の有給休暇制度」や「短時間勤務制度」の 導入に取り組む中小・小規模事業者等への支援を新 たに行います。

今後も中小企業等に対して、こうした制度の周知を図り、企業等の職場づくりを支援してまいります。

事業スタッフを増やしたいが、募集をしても 集まらない状況。人口を増やせばこの問題は解 決するのか、先が見えない不安を漠然と感じ る。 中高年齢者向け就職相談窓口や女性向け就職相談 窓口を松江市、浜田市に設置するなど多様な人材の 活躍促進や、人材確保育成コーディネーターの配置 による若者の県内就職促進に取り組んでいます。

また、シルバー人材センターの活動も支援しています。

今後もこうした取組の周知を図り、県内企業等の 人材確保を支援していきます。

また、若者の県内就職促進に向けては、令和元年1 2月に県の大阪事務所、広島事務所に新たに学生就 職アドバイザーを配置するなど体制の強化を図りま した。

県内就職に向け、きめ細かな企業情報や交流機会の提供を行い、県内外の学生の県内就職に向けた取組も強化してまいります。

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただくご意見

- ・インフルエンザや下痢などの場合、1週間程度病児保育を利用することになり、利用料の負担が大きいので、これに対する補助があればうれしい。
- ・子どものことなど急に何か起きた時に、実家のように助けてくれる組織があればよい。
- ・学校司書の果たす役割は重要であるが、5年ごとの更新があり不安が大きく、また待遇も恵まれていない。学校司書の継続配置と待遇改善をお願いしたい。
- ・オートキャンプ場の近くに工業団地があって、夜に煙が出ている。公園だけがポツンとある。 人と自然という暮らしが一体化できているのが島根の良さ。ここの良さをずっと長く守っていけるようなデザインをして欲しい。

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし